

平成 25 年度年次経済財政報告の訂正について

平成 25 年 9 月 25 日
内閣府政策統括官
(経済財政分析担当) 付
参事官 (総括担当)

平成 25 年度年次経済財政報告に誤植がありましたので、下記のとおり訂正いたします。利用者の皆様には御迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

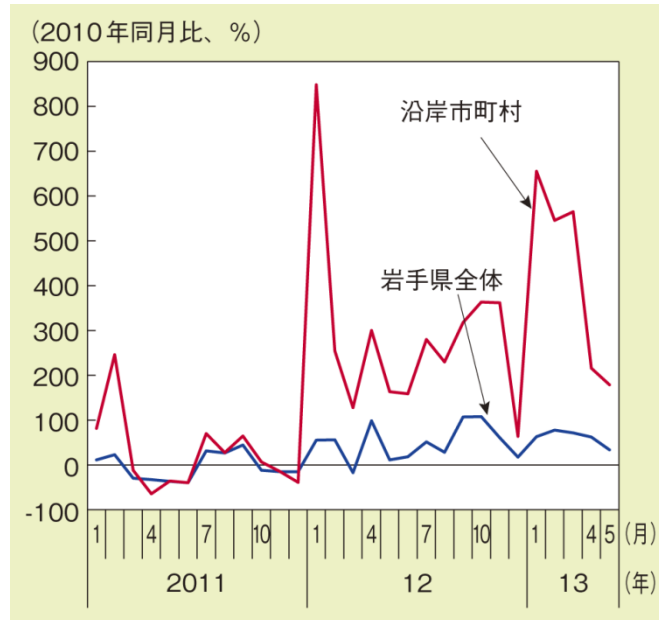
記

訂正箇所	誤	正
第 1 章 (p35) 下から 5 行目	住宅ストックの復旧・復興状況を確認するため、住宅被害の大部分が生じた沿岸地域の住宅着工戸数 (2011 年 4 月からの累計) と大震災による全壊棟数を比較すると、最も高い宮城県でも 28.4%、最も低い福島県では 8.8%といずれも低い水準にある (第 1-1-20 図 (2))。	住宅ストックの復旧・復興状況を確認するため、 <u>岩手県、宮城県の住宅被害の大部分が生じた沿岸地域</u> や <u>福島県の避難指示区域を含む地域</u> の住宅着工戸数 (2011 年 4 月からの累計) と大震災による全壊棟数を比較すると、最も高い宮城県でも <u>27.6%</u> 、最も低い福島県では <u>20.4%</u> といずれも低い水準にある (第 1-1-20 図 (2))。
第 1 章 (p155) 上から 7 行目	最も進んでいる宮城県でも全壊棟数の 28.4%にとどまっており、	最も進んでいる宮城県でも全壊棟数の <u>27.6%</u> にとどまっており、

(誤)

第1-1-20図 (1) ①岩手県

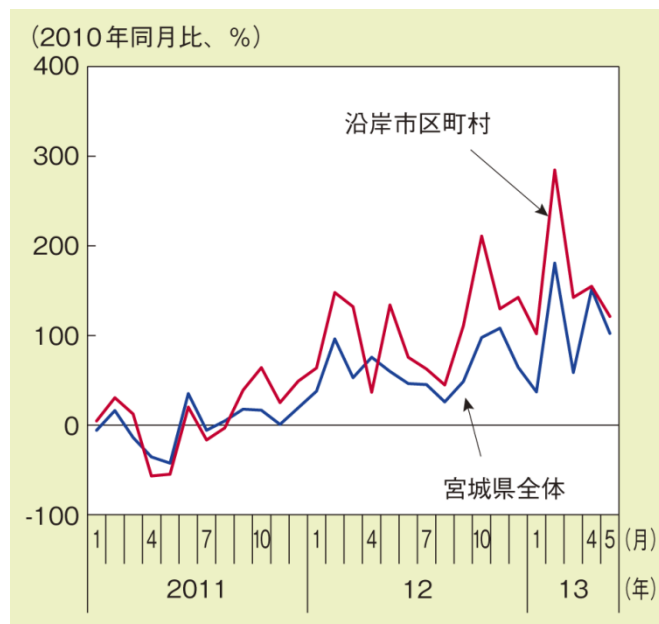
(正)



(誤)

第1-1-20図 (1) ②宮城県

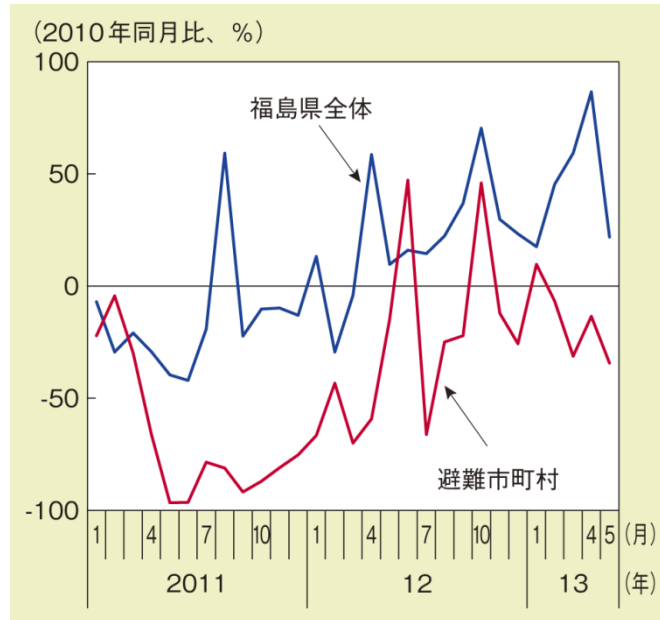
(正)



(誤)

第1-1-20図 (1) ③福島県

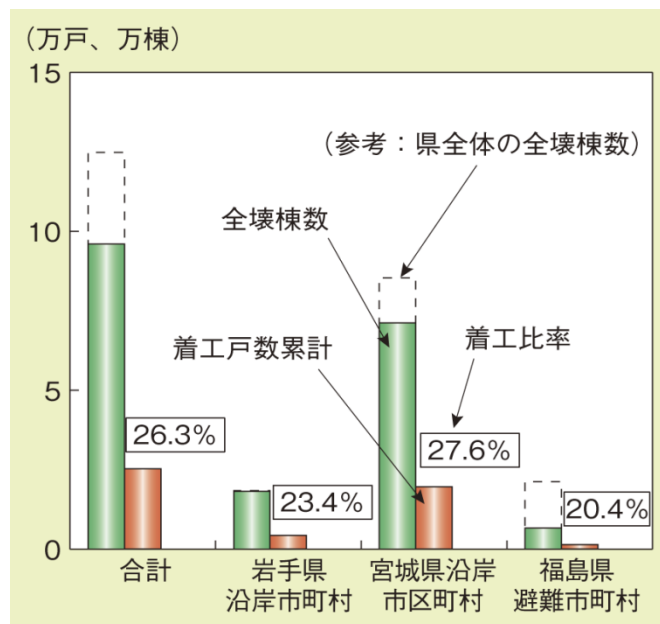
(正)



(誤)

第1-1-20図 (2)

(正)



以上